

「平成 27 年度春季大会(全国総体・近畿大会代表決定戦)」結果報告



前田が個人優勝!

インターハイ・近畿大会出場決定!

6月6日(土)・7日(日)に、大阪城弓道場において、「平成 27 年度春季大会 2 日目・3 日目」が行われました。この大会は、インターハイと近畿大会の代表決定戦として行われます。5月の春季大会1日目の予選を通過した個人・団体が出場することが出来ます。本校からは、個人戦に男子4名、女子1名と男子団体が出場しました。

◆6日(土) 個人戦

個人戦には男子の3年前田、2年場口、西野、柳田、女子の2年山本が出場しました。最初の3立12射で6中以上の選手だけが残りの2立に進むことができ、合計20射の総的中で順位を決定します。前田は、はっきりと“優勝”を狙っての戦いです。他の選手もなんとか10位までに入って近畿大会への出場権を取ることを目標に頑張りました。

結果は、前田以外は総崩れの状態でした。特に、最近の試合で結果を出し続けていた場口と西野の不調は残念でなりません。明日の団体戦のことが心配になってきました。柳田、女子の山本も思うような結果が出ませんでした。まだまだ練習が足りません。



2年生が総崩れするなか、3年前田が意地を見せました。しかし、かなり苦しい立ち上がりとなりました。1立目、皆中(4中)で最高の立ち上がりと思いきや、4本目を外れと訂正されました。気分的に嫌な雰囲気の中で2立目、3本目を痛恨のミス、前半2立で2本外すという、優勝を狙うには苦しい立ち上がりとなりました。しかし、勝負の3立目に見事皆中。予選を12射10中で2位タイにつけました。残り8射は坐射となります。優勝を意識して緊張感が一気に上がります。毎年、この残り8射で順位ががらりと変わります。4立目、11中でトップだった選手がまさかの1中であつという間に脱落。10中で並んでいた前田を含む3名がともに3中で、合計13中でトップに並びました。1本差の12中にも5名がおり、誰が優勝してもおかしくない状況で最後の1立をむかえました。勝負の5立目。他の2名がプレッシャーに負けて1本、2本と外す中、昔の“ネガティブ前田”から最近では“ポジティブ前田”に生まれ変わった前田が見事皆中、合計17中で堂々の優勝を果たしました。



今回優勝カップがなくて残念でした。

これで我慢してね。

● 苦しい戦いでした・・・

前田は昨年の新人戦でも優勝し、これで**2冠達成**です。そして念願のインターハイ出場です。1月の全国選抜大会では、まさかの予選落ちで悔しい思いをしました。そのときから「絶対インターハイに出て、リベンジするんだ。」と決意し、練習に取り組んできました。3月の中日本大会や全国私学大会などは9割近似的中率で着実にインターハイに向けて実力をつけてきました。しかし、1、2ヶ月前から肘を痛めてしまいました。肘の状態を悪化させないように練習量を制限せざるを得なくなり、不安がよぎりました。また、4月の市長杯や5月の春季大会1日目などで、大阪城弓道場の的の位置が高く感じて狙いが合わないと言うようになりました。実際、最近の大阪城弓道場での試合や練習では的中がイマイチの状態でした。こんな不安なままで個人戦の初日を迎えるわけにはいきませんので、大会前に何度か大阪城弓道場で練習をしました。また、悔いを残さないためにも、少しでも不安な要素を取り除くために出来ることはすべてやっておこうと思い、大会前日にも大阪城弓道場に連れて行き、狙いを確認させました。そういった状況の中で、本当に良く頑張ったと思います。前田、おめでとう！

◆ 6月7日(日) 団体戦

さあ団体戦です。メンバーは個人戦に出場した4名に、2年安田を加えた5名です。優勝してインターハイ出場だ！と言いたいところですが、今年は各校レベルが高く、5月の1次予選でも思うような的中が出ず、他校のレベルの高さに正直まずいなと思いました。しかも3年流が怪我のため出場できず、交代選手なしの5人ぎりぎりのメンバーとなりました。また、前日の個人戦での悲惨な状況を見ていると、優勝どころか予選突破も危ないのではと感じました。まずは、2立合計40射の予選で、上位5校に入り、決勝リーグ進出を目指します。本校は1立目12中、2立目11中の合計23中として、なんとか予選を突破しました。個人戦に出場していなかった安田の予想外に活躍に助けられました。他の選手も今の調子を考えるとよく頑張ったと思います。

■ 決勝リーグ戦

初戦は、予選トップの汎愛高校です。初戦独特の緊張感のため、絶対に高的中は出ないと思っていたので、自分たちにもチャンスがあると思っていました。予想通り、汎愛高校の的中が伸びません。チャンスだ！と思いましたが、本校もイマイチ的中で、結局11中対13中で負けました。続く浪速高校にも10中対14中で負けて、インターハイの可能性は完全になりました。がっかりするところですが、選手は諦めずに残りの試合に全力を尽くしました。その結果、残りの大阪学院高校と東淀川高校に連勝、2勝2敗と踏ん張りました。各校実力が拮抗している今大会を象徴するように、互いに潰しあう結果となり、3勝1敗の浪速高校が優勝、英真学園と汎愛高校と大阪学院高校の3校が2勝2敗で並びました。同率の場合は、決勝リーグでの総的中で順位を決定します。その結果、2位汎愛高校、3位大阪学院高校、4位英真学園となりました。

3位になれば近畿大会に出場できたのですが、悔しい結果となりました。しかも3位の大阪学院高校とはわずか1本差でした。大阪学院高校には直接対決では勝っていただけに、本当に悔しい4位です。でもこれが妥当な結果だと思います。他校の選手の引いている姿を見ていると、本校とはかなり差がありました。まだまだ決勝リーグを勝ち抜くだけの実力はありません。



男子団体

■「運」がなかった・・・」のか？

「あと1本・・・ 運がなかった・・・」とってしまいがちですが、果たしてそうでしょうか？私は“運”というのは、来るものではなく、“**引き寄せる**”ものだと思っています。去年は、同じ2勝2敗でも総的中で2位になりました。今回は同じ2勝2敗でも4位でした。何が違うのか、結局は実力がなく、的中が低かったのが原因です。的中が高ければ、「2勝2敗でも2位、3位になれた」という“運”を引き寄せることが出来たということです。今年のチームは、まだまだ“運”を引き寄せるだけの実力も努力も強い意志も足りなかったということです。

◆さあ、インターハイへ

前田は、近畿大会、インターハイに出場します。今回はしっかりと“優勝”を意識しての戦いとなります。応援、宜しくお願いします。

試合日程

■第68回近畿高等学校弓道大会

日時・・・平成27年7月19日(日)・20日(月)

(個人戦は19日)

場所・・・東洋大学附属姫路高等学校弓道場

■平成27年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会

日時・・・平成27年8月6日(木)～9日(日)

(個人戦は6日個人予選・準決勝、7日個人決勝戦)

場所・・・吉野運動公園総合体育館特設弓道場

『**“運”を女性のように口説きなさい**』 アルゼンチンのことわざ

何も努力しないで振り向いてくれる女性なんていないだろ？ それと同じで、運もこちらから必死に口説こうとしないと振り向いてくれないんだ。